

「話し言葉略さないで」

小牧 外国人の苦学学ぶ講座

外国人が日本の生活で難しいと考えることを学ぶ講座が二十四日、小牧市公民館で始まり、十人が参加した。市生涯学習課が愛知文教大（同市大草）や小牧防災リーダー会と協力して三回の講座を開催。十月二十九日と十一月五日に、同所で二回目と三回目が開かれる。

の専任講師で、中国出身の馬燕さんが講師を務めた。馬さんは留学生に教えていて気付いた例を解説した。

「日本語を学ぶ外国人は教科書や辞書の用法を正しいと思うから、言葉を略さずに話して」と呼び掛けた。「名前を尋ねる時は『お名前をいただけますか』ではなく、『お名前を教えてください』と説明した。

参加した小牧市国際交流協会のスタッフ伊藤三津子さん（五十九）は「普段使っている話し言葉も難しいのだと気付いた」と話した。

（藤原啓嗣）

（第3種郵便物認可）



外国人に分かりづらい日本語を解説する馬燕さん。小牧市公民館で